

○江戸時代の中頃には1年を通して藍染めができる技術が確立されていたため、当時流行っていた木綿の原料の綿花の栽培と合わせて農家の貴重な収入源のひとつだったと思われます。そうやって細々続けられてきた藍染めも安価で鮮明な化学染料の台頭で姿を消していくことになりました。

○『弁慶縞』と『藍染』。かつての高柳の暮らしに根付いていた技術と文化。なくなったのにはそれなりの理由があり、それを復活させ私たちの生活に再び根付かせることは並大抵ではありません。しかし、それができたら高柳はもっともっとおもしろくなると思うのです。そのために、それぞれの技術の「どこ」に着目し、「何」を現代に活かすか、みんなで考えることが必要です。そしてそのカギは「外との交流」にあると思います。



3年目にして初めて藍建てに成功。

○『弁慶縞』も『藍染』も、調べていくうちに、高柳が独自に生んだものではなく、交易により、人と人との交流、それによる技術の向上、文化の伝播が進んだ結果、高柳の風土と相まって醸成されてきたものだと思うようになりました。『狐の夜祭り』に代表されるように、「外との交流」を何より大事にしてきた高柳の諸先輩方にも通じるものがあります。

○『温故知新』。何をするにも根っこから。まずは、仲間と地道に藍を育てながら、弁慶縞のルーツと織姫たち。それを支えた名もなき染師たちのことをさらに調べていき、それを皆さんにお伝えしていくことから始めたいと思います。



仲間たちと一緒に藍染め遊び

☆第33回高柳雪まつり「YOU・悠・遊」は、2月25日（土）・26日（日）です。

・「YOU・悠・遊」のイベント名はどういう意味かご存知ですか？

1991年の第1回雪まつりの実行委員の皆さんが名付け親です。

【YOU】あなたも、あなたも、そしてあなたも

【悠】ゆっくりと、そしてのんびりと

【遊】雪を楽しみ、食を楽しみましょう

「YOU・悠・遊」には、こんな思いが込められています。

・今年は会場をじょんのび村・こども自然王国に移しておこなわれます。企画委員や実行委員をはじめ、みなさんのご協力を得ながら、今までの思いを継承しながらも新しいカタチで多くの方に喜ばれるイベントとしてまいりましょう。



キャラクターショーも復活！

発行 高柳コミセン「じょんのびの里」部会

乗岡元孝 大倉正大 米山硬

田辺忍 小林抄吾 吉田敦子

大橋拓哉 山崎智仁 小野島弘

編集 NPO法人里山夢もっこ

高柳地区コミュニティ振興協議会

〒945-1595 柏崎市高柳町岡野町 1849-1

TEL & FAX : (0257) 41-2234

E-mail:c-takayanagi@kashiwazaki-cc.net